

公立大学法人埼玉県立大学 第1期中期目標期間 業務実績報告書の概要

第1期中期目標期間 業務実績報告書における自己評価結果一覧

大項目別	S (中期計画を上回って達成)	A (中期計画を十分に達成)	B (中期計画を十分に達成できず)	C (中期計画を達成せず)	計	S・Aの比率
I 教育・研究等の質の向上	1	104	1	0	106	99.1%
1 教育	1	43	1	0	45	97.8%
2 学生支援	0	24	0	0	24	100.0%
3 研究	0	23	0	0	23	100.0%
4 地域貢献産学連携	0	14	0	0	14	100.0%
II 業務運営の改善・効率化	0	22	1	0	23	95.7%
III 財務内容の改善	1	16	0	0	17	100.0%
IV 自己点検・評価	0	7	0	0	7	100.0%
V その他	0	9	1	0	10	90.0%
合計	2	158	3	0	163	98.2%

III 第1期中期目標 4つの数値目標の達成状況

数値目標	目標設定時 (H20)	6年間実績値 (H27実績値)
1 進路決定率 (目標：100%)	94.3%	94.5% ~ 97.8% (97.8%)
2 県内就職率 (目標：60%)	50.6%	45.8% ~ 61.2% (61.2%)
3 科研費採択 (目標：30%増 =57件)	44件	42件 ~ 67件 (67件)
4 自主財源比率(※) (目標：5ポイント向上 =42.3%)	37.3%	42.4% ~ 44.3% (44.0%)

※実績値は(運営費交付金+自主財源)を収入とし、目標設定時は(一般財源+自主財源)を収入として算出した。
また、退職手当や高額備品などの特殊経費は考慮外とした。

I 中期計画を上回って実施している項目 (S評価)

- ①情報センターの利用法、電子ジャーナルやデータベース活用法等の情報検索能力の向上【I1(3)イ(ア) 報告書P29】
(講習受講学生数 年間延べ160人以上)
→全ての年度において、中期計画の数値目標である講習受講学生数を達成
- ②自己収入確保、経費の抑制、資産運用管理の総合的取組み【III4(1) 報告書P57】
→全ての年度において、自主財源比率の中期目標を達成

II 中期計画を十分に実施していない項目 (B評価)

- ①専任教員間の担当科目配分の見直し【I1(3)ア(エ) 報告書P29】
→各教員の担当授業量を把握した。今後の業務量平準化検討に活用
- ②教員評価制度を処遇に反映【II3(2)イ 報告書P50】
→導入した教員評価制度を、処遇に反映できるよう見直す
- ③化学物質等の適切な管理及び廃棄物の適正な処理【V2(2) 報告書P63】
→適切な保管方法に改めるとともに、管理規定の遵守を周知徹底

IV まとめ

【自己評価結果の分析】

S評価が2/163項目(1.2%)、A評価158/163項目(96.9%)で、S評価とA評価の合計の比率は98.2%であった。

教員の業務量平準化、教員評価制度、化学物質等の管理等にまだ改善の余地があるものの、第1期中期目標期間における6年間の中期計画最終実績としては、おおむね良好な達成状況といえる。

なお、中期目標にかかる4つの数値目標については、自主財源比率は平成22年度からの全ての年度、科研費採択件数は平成26年度から、県内就職率は平成27年度に達成している。一方で、進路決定率は未達成であり、目標達成に向け引き続き努力を行っている。